

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4875000号
(P4875000)

(45) 発行日 平成24年2月15日(2012.2.15)

(24) 登録日 平成23年12月2日(2011.12.2)

(51) Int.Cl.

F I

A 4 5 C 9/00 (2006.01)

A 4 5 C 9/00

H

請求項の数 7 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2007-556135 (P2007-556135)
 (86) (22) 出願日 平成17年12月15日(2005.12.15)
 (65) 公表番号 特表2008-523966 (P2008-523966A)
 (43) 公表日 平成20年7月10日(2008.7.10)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2005/045443
 (87) 国際公開番号 W02007/086821
 (87) 国際公開日 平成19年8月2日(2007.8.2)
 審査請求日 平成20年10月27日(2008.10.27)
 (31) 優先権主張番号 11/012,429
 (32) 優先日 平成16年12月15日(2004.12.15)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(73) 特許権者 507012283
 トゥミ、インコーポレイティド
 アメリカ合衆国、ニュージャージー 07
 080、サウス プレインフィールド、ダ
 ーラム アベニュー 1001
 (74) 代理人 100099759
 弁理士 青木 篤
 (74) 代理人 100092624
 弁理士 鶴田 準一
 (74) 代理人 100102819
 弁理士 島田 哲郎
 (74) 代理人 100090309
 弁理士 今枝 久美

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 低断面形ハンガーブラケットおよびハーネスを備えたカバン

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一つの衣服ハンガーを保持するためにカバン製品のパネルに取付けられている衣服ハンガーブラケットを含むカバン製品であって、衣服ハンガーブラケットが、
 実質的フラット周辺境界領域および起立中央領域を有するベース部材、
 前記ベース部材の起立中央領域上の少なくとも一つのフック部材、および
 前記ベース部材上のハーネス機能部と共働するハーネス部材を含み、
 前記フック部材は、前記ベース部材に概ね垂直の第一部へ延在し、かつ湾曲して前記ベース部材から離隔して前記ベース部材に沿って第二部へ延在し、かつ前記ベース部材から離隔した自由端で終端し、

前記ベース部材は、前記ベース部材の周辺境界領域を縫合することによりカバン製品のパネルに取付けられていて、

前記ハーネス部材は、前記カバン製品のパネルに前記ハーネス部材の上部を縫合することによって取付けられた可撓性部材を含む、カバン製品。

【請求項 2】

各フック部材の第一部の長さは、フック部材の第二部と前記ベース部材間の間隔が単一衣服ハンガーのフック端の厚みよりも僅かに大きいだけであり、それにより前記衣服ハンガーブラケットが低断面形態になっている、請求項 1 のカバン製品。

【請求項 3】

前記衣服ハンガーブラケットは、少なくとも一つのフック部材の第二部と対向する前記

10

20

ベース部材の中央領域により担持された弾性戻り止め部材を更に含み、前記弾性戻り止め部材は、前記ベース部材から前記フック部材の第二部へ向かって外方へ湾曲して、前記弾性戻り止め部材と前記フック部材の第二部とが作動して衣服ハンガーのフック端をその間に捕捉する、請求項 2 のカバン製品。

【請求項 4】

前記衣服ハンガーブラケットは一片のプラスチック構成要素である、請求項 3 の衣服ハンガーブラケット。

【請求項 5】

前記衣服ハンガーブラケットは同一対の前記フック部材を含む、請求項 4 のカバン製品。

10

【請求項 6】

少なくとも一つのフック部材の第二部の長さは、フック部材の第二部と前記ベース部材間の空間でフック部材の第二部の長手方向に相互に積み重ねた二つまたはそれ以上の衣服ハンガーフック端を受けるのに十分である、請求項 4 のカバン製品。

【請求項 7】

前記フック部材の第二部は、前記フック部材の第二部と前記ベース部材間の空間への衣服ハンガーのフック端の挿入を促進するために、前記フック部材の第一部から前記ベース部材に向かって僅かに傾斜しかつ前記ベース部材から離れる自由端で湾曲している、請求項 1 のカバン製品。

【発明の詳細な説明】

20

【技術分野】

【0001】

本発明は、カバン、特に旅行カバン、そして特にワイヤまたは木製（スーツ）ハンガーを保持することのできる低断面形衣服ハンガーブラケットを有するカバンに関する。

【背景技術】

【0002】

ハンガー上に担持された衣服、例えばスーツまたはドレスを保持するために設計された種々のブラケットを提供することはカバン製品において既知である。しかしながら、かかる従来ブラケットは、特に小さい、軽量牽引またはキャリオンバッグに全体的に満足できるものでない。従来ブラケットは過度に大きくかつでしゃばっている、または例えば木製スーツハンガー等の、ある種の一般的に使用されているハンガーに適さない、または特別設計のハンガーの使用を必要とする傾向がある。従来ブラケットは、カバン製品に吊るすために、例えばクローゼット内の従来ハンガーから衣服を他のまたは特別のハンガーへ移動することを必要とすることがある。Tumi, Inc. に対して 2003 年 7 月 22 日に発行された US 特許 6595354 号は従来技術の上述の欠点を克服している。この特許の開示は全体がここに参考として組み込まれる。しかし、ハンガーの不本意な外れを解消するためのハーネスを示唆または開示していない。

30

【0003】

従って、ハンガーの不本意な離脱を解消する、カバン製品として軽量、コンパクト、万能衣服ハンガーブラケットに対するニーズが存在する。

40

【発明の開示】

【0004】

[発明の概要]

【0005】

本発明の課題は、ブラケットが一般的に利用可能なワイヤまたは木製ハンガーに有用であり、クローゼットから衣服を直接詰め込むことができる、即ち衣服を他のハンガーへ移動する必要なくパックでき、かつハンガーの不本意な脱出を回避するためにハーネスを有する、カバン製品用の低断面形衣服ハンガーブラケットを提供することを課題とする。

【0006】

本発明の上述および他の課題は、カバン製品の壁パネルまたは壁部材に固定されたベー

50

ス部材を有し、かつ少なくとも一つ、好ましくは二つのフック部材を含むハンガーブラケットを提供することにより達成される。前記フック部材は前記ベース部材から概ね垂直に延在し、続いて湾曲し、前記ベース部材から離隔して（前記ベース部材に沿って第二部へ）延在し、そして自由端で終端する。前記ベース部材と前記フック部材の対向部と間の間隔は、単一衣服ハンガー、即ちコートハンガーのフック部が、前記フック部材と前記ベース部材間にフィットするような間隔であることが好ましい。この構成は、衣服ハンガーブラケットに有利な低フラット断面形態を提供する。他方、前記ベース部材に沿った方向の前記フック部材の第二部、もしくは第二フック部、の長さは、積み重ねた状態で二つまたはそれ以上の衣服ハンガーを保持するのに十分であってよい。

【0007】

10

衣服ハンガーブラケット内のコートハンガーを捕捉するために対向フック部と共働する弾性戻り止め部材が、前記ベース部材上に設けられている。各フック部の自由端は、第二フック部と前記ベース部材間の空間への衣服ハンガーの挿入を促進するために、前記ベース部材から離れる方向へ伸長していることが好ましい。

【0008】

ハーネス部材が、移動中のフック部材から衣服ハンガーが不本意に自由にならないように衣服ハンガーを確保するために設けられてよい。

【0009】

経済性および製造容易性のために、衣服ハンガーブラケットは好適には一片の成形プラスチック構成要素である。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

本発明およびその利点の理解を更に完全にするために、添付図面を参照して例示実施形態を次に説明する。

【0011】

図1に示されたカバンは二つの構成要素フレームを有し、この二つのフレームは、その部品の材料、組立方法、および形態に関して適宜に構成されてよい。主フレーム10は一对の対向する矩形平面側壁パネル12（一つだけが示されている）および一对の対向壁部材14（一つだけが示されている）を有し、これらは実質的剛性でありかつコーナで頑固に連結されている。対向壁部材は、ここでは上下部材と呼ぶ。上下部材は、カバン使用時には直角配向になる。図面は部材14をパネルで表現しているが、市販の一般的旅行カバンは、牽引可能でありホイール付きである。かかるカバン製品の実施において、主フレームの下部材および上部材はホイール16、牽引ハンドル（図示せず）、一つまたはそれ以上の運搬ハンドル18等が取付け可能に構成される。主フレーム構成要素10は、部分的または全体的に剛性の裏壁パネルを有してよい。第二フレーム構成要素20は、対向の矩形平面パネル22および上下部材24で形成され、実際には、シート材による矩形平面パネルが一般的である。

30

【0012】

主フレーム構成要素10は、耐久性のある布帛によるカバー26を受ける。第二フレームの側、上下は布帛カバー28を受ける。カバン製品の内部へのアクセスは、前開口から可能であり、前開口はパネル30により閉鎖され、パネル30は側縁32でカバー28に連結され三側に沿ってジッパー34を降下上昇により開閉してよい。

40

【0013】

カバン製品の主部（主フレーム10とそのカバー26）は、カバン製品の全周に（上下および両側壁に沿って）延在する耐久性のある可撓性材料によるマチ36により第二部（第二フレーム20およびカバー28, 30）に連結されている。カバン製品の拡張状態において、マチ36は主区画室の全周を結合し、このマチによりカバン製品の容積または体積は主ユニットから第二ユニットへ拡げることにより拡大する。カバン製品の収縮（相対的に小さい容積または体積）状態（図示せず）において、主フレーム構成要素10および第二フレーム20の相互に隣接する端上の対の半割部38a, 38bを有するジッパーが

50

、カバン製品の全周に延在し、引き上げるにより閉鎖される。マチ 3 6 は、カバン製品の収縮状態でカバン製品の内部へ折り畳まれる。

【 0 0 1 4 】

同一出願人による U S 特許 6 2 2 0 4 1 1 B 1 号に開示されたように、主フレーム構成要素 1 0 は、第二フレーム構成要素 2 0 へ二つの同一ブリッジ組立体（図示せず）により連結され、その一方は側パネル 1 2 および 2 2 に連結され、かつ他方は対向側部材（図示せず）に連結される。ブリッジ組立体は、主ユニットに対する第二ユニットの上下運動、側 - 側移動、回転傾斜運動、側 - 側および前後コック運動を阻止することによりカバン製品の形状を安定化させる。かかるブリッジ組立体は、所望により図 1 の実施形態へ組み込まれてよい。選択的に、特にブリッジ組立体が必要とされない安定性が確保されたカバン製品の場合には、ブリッジ組立体は省略できる。

10

【 0 0 1 5 】

図 1 に示されたように、一つまたはそれ以上の外ポケット 4 0 , 4 2 が前パネル 3 0 の前側に形成されてよい。ジッパー 4 4 , 4 6 が外ポケットの開閉のために設けられてよい。

【 0 0 1 6 】

下ポケット 4 2 は、下壁および側壁内に第一マチ 3 6 に使用したような同一タイプの適宜可撓性材料による第二マチ 4 8 を含む。下ポケット 4 2 の縁はマチ 4 8 に隣接し、ジッパーの対の半割部 5 0 a , 5 0 b を担持し、このジッパーはマチ 4 8 の全長にわたって周辺に延在する。理解されるように、前ポケット 4 2 は、ジッパー 5 0 が引き上げられるときに収縮状態になり、かつジッパー 5 0 が引き下ろされるときに拡張状態になる。従って、第二段階の拡張はカバン製品内に形成され、他の旅程の要件にカバン製品を適合させる柔軟性を提供する。

20

【 0 0 1 7 】

図 1 では前ポケット 4 2 の三側のみで拡張しているが、第一マチ 3 6 と同様に、マチ 4 8 は前ポケットの全周まわりに連続的に延在してよい。同様に、所望により、拡張マチが前ポケット 4 0 に設けられてよく、それにより収納スペースを増加できる。

【 0 0 1 8 】

上記複数の拡張特質部は Tumi, Inc. に対して 2 0 0 3 年 7 月 1 5 日に発行された Multiple Expansion Luggage Item の名称に係る U S 特許 6 5 9 1 9 5 0 号の主題である。

30

【 0 0 1 9 】

カバン製品の、特に拡張状態において、安定を促進するために、カバン製品の前脚 5 2 は第二フレーム構成要素 2 0 の下壁上に取付けられる。従って、主区画室が拡張するときに、前脚 5 2 は第二フレーム構成要素と共に前進移動する。

【 0 0 2 0 】

図 2 は前パネル 3 0 を開いて折り畳んだ状態のカバン製品の単純化した前面図を示す。一对の紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b が、第二フレーム構成要素 2 0 の対向壁部材 2 4 のそれぞれに取付けられている。紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b は、所定場所で衣服をより良く保持する耐久機能を提供し（従来の紐状下ストラップとの比較で）、かつ最後の品物等に対して便利な収納部を提供する。

40

【 0 0 2 1 】

紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b は、従って、第二フレーム構成要素の対向壁パネル 2 2 間の距離の少なくとも半分、または好ましくは略全部、かつ対向壁部材 2 4 間の距離の少なくとも 1 / 4、好ましくは少なくとも 1 / 3 にわたって延在する。紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b は、クイック解除バックル 5 6（または他の従来連結紐または機構）により相互に対して取外し可能に取付けられる。解除バックルの対の半割部材は、適宜方法、例えばストラップ 5 8 a , 5 8 b により、個別パネルに連結され、その幅に沿って離隔点で個別パネルの対面端に取付けられる。紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b の相対的に幅広い範囲は移動時に衣服を所定場所に確実に保持する。

【 0 0 2 2 】

50

更に、紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b の少なくとも一方、または好ましくは両方が付加的収納部を提供するためのポケット 6 0 a , 6 0 b を含む。ジッパー 6 2 a , 6 2 b が安全確保のために設けられてよい。便宜上、一つのポケットまたは二つのポケット 6 0 a , 6 0 b は、好適には、ポケット内の収納物の観察の便宜からシースルーメッシュで形成される。

【 0 0 2 3 】

紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b は、好適には第二フレーム構成要素 2 0 に連結され、カバン製品が拡張するとき、そのパネルがフレーム 2 0 と共に移動し主区画室の拡張した容積上に重なる。

【 0 0 2 4 】

上述のごとく、紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b は、所望により、拡張しないカバン製品に設けられてよい。この場合、紐状下パネル 5 4 a , 5 4 b は、例えば図 1 の対向壁部材 2 4 に対応する、カバン製品の固定フレーム部材に連結できる。

【 0 0 2 5 】

上述の耐久機能紐状下パネル特質部は、現在放棄されているが、Luggage With Tie-Down Pockets の名称に係る 2 0 0 2 年 4 月 3 日に本出願人により出願された U S 特許出願 1 0 / 1 1 5 3 8 5 号の主題である。

【 0 0 2 6 】

図 2 に示されたように、本発明によれば、衣服ハンガーブラケット 6 4 は、第二フレーム構成要素のパネル 2 2 に連結された側に近い前パネル 3 0 の後側に取付けられている。衣服ハンガーブラケット 6 4 の構造は、図 3 および 4 に詳細に示されている。

【 0 0 2 7 】

衣服ハンガーブラケット 6 4 は、好適には、単一片のプラスチック構成要素として形成され、周辺境界領域 6 8 および起立中央領域 7 0 を有する概ね矩形のベース部材 6 6 を含む。中央領域の縁 7 0 a , 7 0 b は好適には面取りされている。このブラケット 6 4 は、適宜方法、例えば周辺境界領域 6 8 へ縫合により、前パネル 3 0 に固定されてよい。

【 0 0 2 8 】

少なくとも一つ、好適には二つの衣服ハンガーフック 7 4 がベース部材 6 6 の中央領域 7 0 により担持される。図 4 に示されたように、各フック 7 4 は、ベース部材 6 6 に対して概ね垂直に延び、かつ第二部 7 4 b へ湾曲し、第二部 7 4 b はベース部材から離隔してベース部材に沿って延び、そしてベース部材から離れる方向へ湾曲して自由端 7 4 c で終端する。

【 0 0 2 9 】

第二部 7 4 b とベース部材間の間隔は、好適には、単一衣服ハンガーの厚みよりもほんの僅かに大きい。これは、ブラケット 6 4 を空間節約に有利な低断面形態にする。弾性戻り止め部材 7 6 が、第二フック部 7 4 b に対向してベース部材上に設けられている。戻り止め部材 7 6 および対向フック部 7 4 b は両者間に衣服ハンガーを捕捉するように構成される。その目的から、第二フック部 7 4 b は、ベース部材 6 6 に向かって僅かに傾斜している。

【 0 0 3 0 】

ベース部材に沿って第二フック部 7 4 b の長さは、好適には、第二フック部 7 4 b の長手方向に二つまたはそれ以上の衣服ハンガーを相互に積み重ねて収容するのに十分なものである。選択的に、各フック 7 4 の自由端 7 4 c (図 3 で示し、図 5 に示されていない) は、第二フック部 7 4 b とベース部材 6 6 間の空間への服ハンガーのフック端の挿入を促進するためにベース部材から離れる方向へ湾曲してよい。この衣服ハンガーブラケットは、ワイヤまたは木製ハンガーのいずれにも有用であり、それにより衣服、例えばドレスまたはスーツのクローゼットからの直接的詰め込みを可能にする。

【 0 0 3 1 】

図 3 から 5 を参照すると、ハーネス部材 9 0 と係合することを目的とするハーネス特質部 8 0 、即ち、ハーネス機能部がベース部材上に設けられていて、衣服ハンガーが移動時

10

20

30

40

50

に衣服ハンガーフック７４から不本意に脱出しないようにする。ハーネス部材９０は、好ましくは、可撓性部材であり、上部９２へ縫合によりカバン製品のパネルに取付けられる。選択的に、ハーネス部材９０は、上部９２に接着されてよい。ハーネス部材９０は、熱可塑性エラストマー等の材料から加工されてよい。ハーネス部材９０に係合させるために、使用者は、下部９４を引っ張り、開口領域９６を衣服ハンガーフック７４上へ伸張り、そのようにして下部のある領域をハーネス特質部８０と係合させて、ハーネス部材９０を適正場所に保持する。図６は、係合位置のハーネス部材を示す。可撓性ハーネス部材９０は、カバン製品および／または衣服ハンガーブラケットの残部への容易縫合を可能にする。同様に、可撓性ハーネス部材９０は、使用を容易にし、ハンガーの緊密適合を可能にし、かつ薄く、軽量にし、更に耐久性および容易交換を可能にする。

10

【００３２】

図７に示された他の実施形態において、ハーネス部材９０ａは蝶番１００を介してベース部材６６に枢軸回転可能に連結される。ハーネス部材９０ａは、ベース部材６６のハーネス特質部８０ａと係合する設計のフック特質部１０２を含む。ハーネス部材９１ａは、更に、衣服ハンガーフックが戻り止め部材７６を摺動通過することを阻止することを支援する突起１０４を含む。図８は、係合位置のハーネス部材９０ａを示す。

【００３３】

図１および２に示されたカバン製品において、衣服ハンガーブラケット６４は、図２に示されたように有利に位置決めされ、折り畳みにより好適なセクションに隣接するであろう（図示せず）。衣服ハンガーブラケットは、選択的に、カバン製品の寸法および形状に依存してカバン製品内の他の位置に位置決めされ得る。本発明によれば、衣服ハンガーブラケット６４は、上述の拡張性および紐状下パネル特質と独立に、カバン製品に有用である。

20

【００３４】

本発明を特定実施形態を参照して説明したが、理解されるように、かかる実施形態は開示された本発明の概念から逸脱することなく改良および変更が可能である。かかる改良および変更は特許請求の範囲に記載の発明の主旨および範囲に包含されることが意図されている。

【図面の簡単な説明】

【００３５】

30

【図１】一部剥離したカバン製品の概ね３／４の概略前面図である。

【図２】前パネルを開いて後ろへ折り曲げた状態のカバン製品の前面図である。

【図３】本発明による衣服ハンガーブラケットの一実施形態の平面図である。

【図４】図３の衣服ハンガーブラケットの側面図である。

【図５】図３の衣服ハンガーブラケット、並設したハーネス部材を示す、衣服ハンガーブラケットのフックの自由端からの選択的湾曲は示されていない。

【図６】図５の衣服ハンガーブラケットとハーネス部材との組立図である。

【図７】本発明による衣服ハンガーブラケットの第二実施形態の側面図である。

【図８】衣服ハンガーブラケットに係合したハーネス部材を示す図７の組立図である。

【図 1】

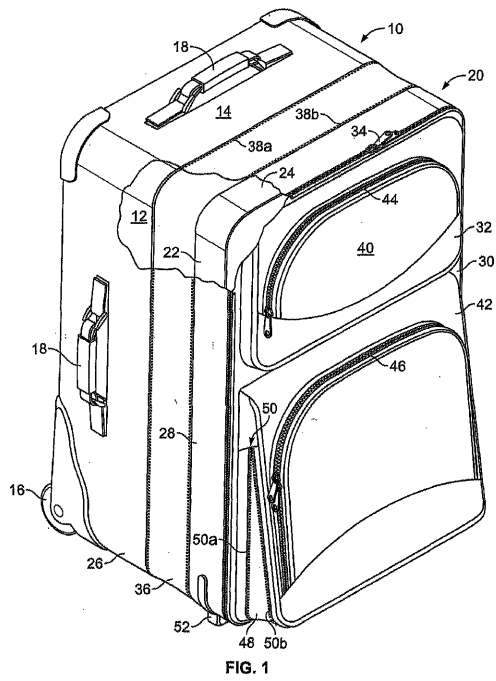


FIG. 1

【図 2】

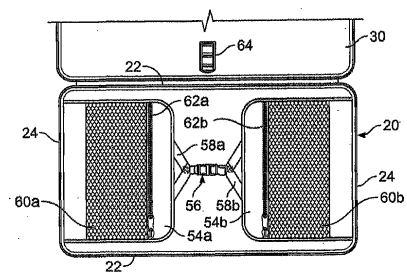


FIG. 2

【図 3】

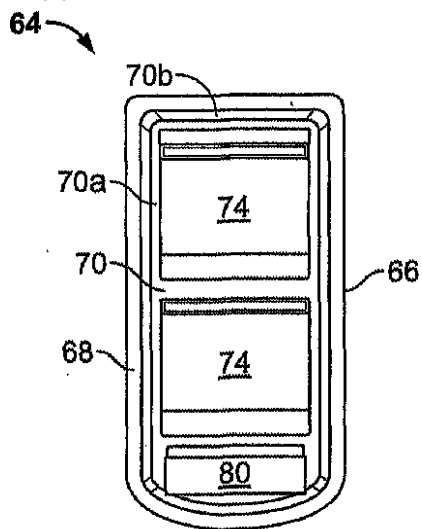


FIG. 3

【図 4】

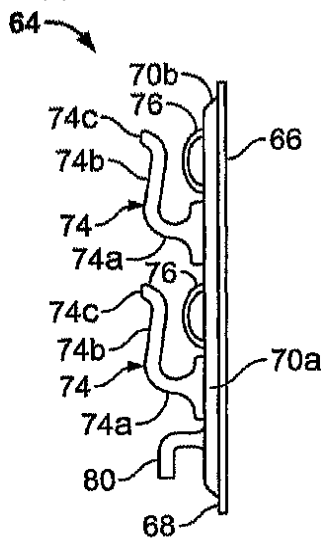


FIG. 4

【図 5】

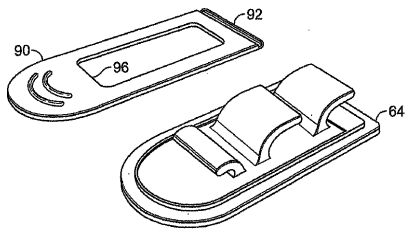


FIG. 5

【図 6】

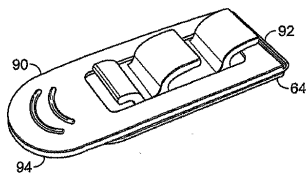


FIG. 6

【図 7】

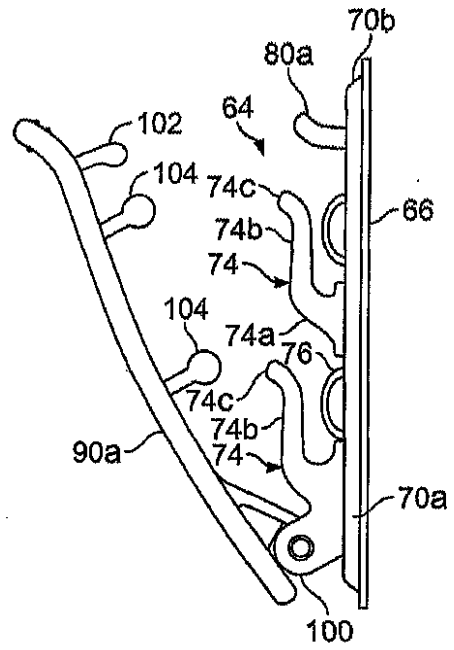


FIG. 7

【図 8】

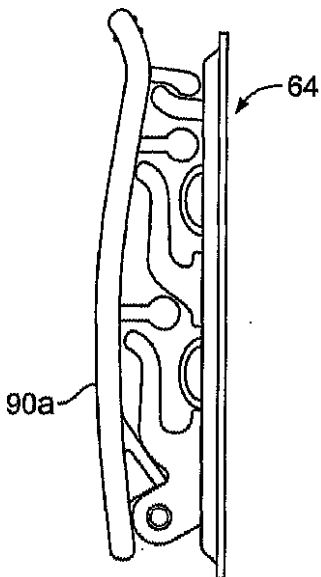


FIG. 8

フロントページの続き

(72)発明者 シクルーナ, ポール ブイ .
アメリカ合衆国, ペンシルベニア 19047, ペンデル, オークランド アベニュー 977

審査官 永安 真

(56)参考文献 米国特許第06595354(US, B1)
米国特許出願公開第2002/0113186(US, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A45C 9/00